

相模鉄道本線の鶴ヶ峰駅付近（西谷駅～二俣川駅間）で 地下方式による連続立体交差事業を進めます

～ 10箇所の踏切をなくし、交通渋滞を解消 ～

横浜市では、経済の活性化や地域の利便性向上、市民生活の安全・安心の確保に向け、鉄道の連続立体交差事業を推進しています。事業の推進により複数の踏切が除却され、交通渋滞の解消、地域防災力の向上、地域の一体化、まちづくりへの寄与など、様々な効果が期待できます。

このたび、平成28年度から検討を進めてきた「**相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業**」の構造形式について、**鉄道を地下化する方式**としました。

今後は、**国庫補助事業として国から支援を受けられるよう調整を図るとともに、事業化に向けた都市計画決定や環境影響評価などの手続きを進めていきます。**

1 事業概要

【区間】相模鉄道本線

鶴ヶ峰駅付近（西谷駅～二俣川駅間）

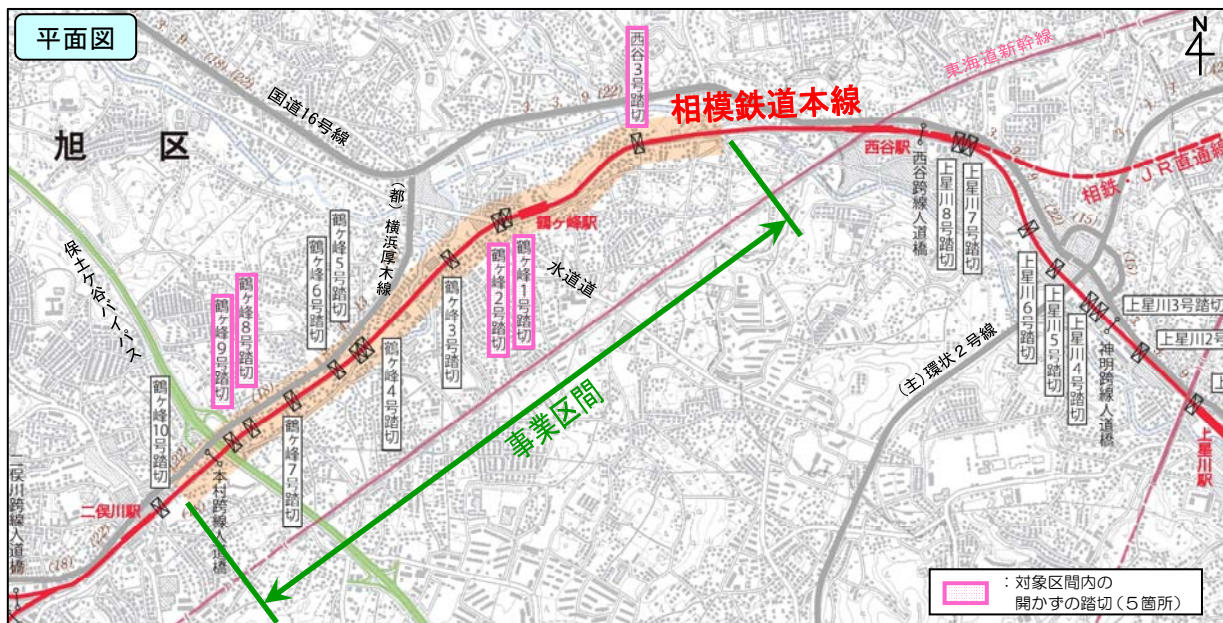
【延長】約2.7km

【構造形式】地下方式

【踏切除却数】10箇所（開かずの踏切※5箇所）

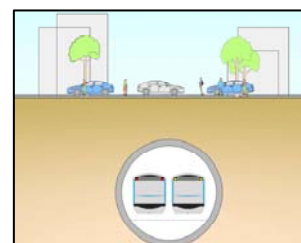
【事業主体】横浜市

※開かずの踏切…ピーク時1時間あたり40分
以上遮断している踏切



2 地下方式の選定理由

平成28年度から2か年かけて測量、地質調査、設計などを実施し、その結果を基に構造形式（高架方式、地下方式）の比較検討を行いました。検討にあたり、踏切除却数や周辺まちづくりへの寄与、経済性などを総合的に評価した結果、**地下方式を選定**することにしました。



【地下方式イメージ】

3 期待される主な整備効果

① 踏切における慢性的な渋滞が解消されます！

今回の事業区間には踏切が 10 箇所存在しており、そのうち5箇所が「開かずの踏切」となっています。踏切周辺の道路は慢性的に渋滞が発生しており、市民生活に支障をきたしています。



【水道道】

② 災害時等における緊急活動が迅速化します！

事業区間のある旭区は鉄道により南北が分断されており、消防車や救急車による緊急活動の際でも踏切を避けて通れない状況です。「開かずの踏切」による長時間の交通遮断や、周辺道路の渋滞により、迅速な対応が求められている緊急活動に支障をきたしています。



【鶴ヶ峰2号踏切】

③ 駅周辺のまちづくりが進展します！

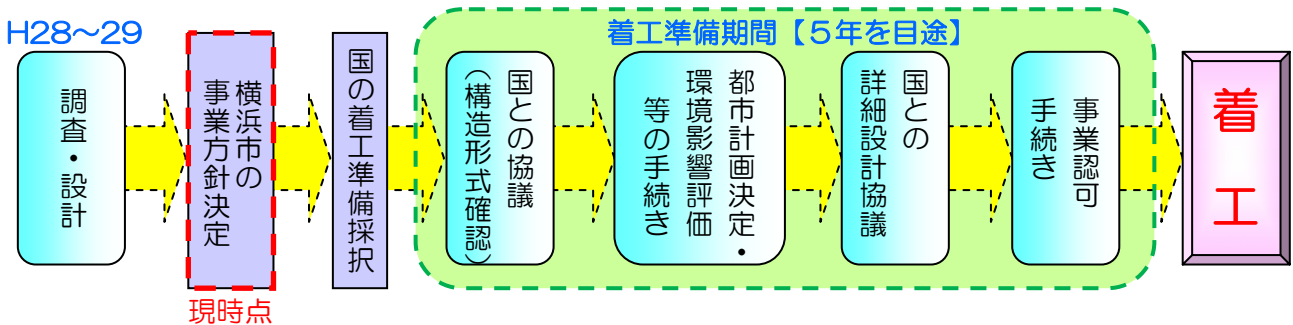
現在、鶴ヶ峰駅の北口周辺では、地権者や地域住民の皆様方と一体となってまちづくり構想の検討を進めています。鉄道の地下化に伴い計画の自由度が高まり、主要な生活拠点としての鶴ヶ峰駅周辺のポテンシャルの向上が期待されます。



【鶴ヶ峰商店街】

4 今後の進め方

連続立体交差事業を着実に進めるため、国の着工準備採択を受けられるよう調整していきます。その後、国との協議を経て、事業化に向けた都市計画決定や環境影響評価などの手続きを進めていきます。



お問合せ先
道路局 事業推進課 鉄道交差調整担当課長 上田 祐一郎 Tel 045-671-2757